

かんが 考 えて ます か ?

いのち まも ぼうさい 『命』を守る防災グッズ

なんかい じしんはつせい ばあい おお ひがい そうてい どうかい
南海トラフ地震発生の場合に大きな被害が想定される東海エリア。

ふだん せいかつ まった ちが な かんきょう ひなんせいいかつ そうぞう ぼうさいげつかん いま かんが
普段の生活とは全く違う、慣れない環境での避難生活を想像したことはありますか？防災月間の今、考えてみましょう。



常滑市中学校の避難所体験で展示

南海トラフ巨大地震が発生した場合に想定されているピーク時の避難者数は約500万人、約47万人だった東日本大震災の10倍以上です。救助・復旧を支援してくれる自衛隊の人数

避難生活で 待ち受けることは

東海地方を近い将来襲うといわれる「南海トラフ巨大地震」。地震と津波による死者は全国で32万人とも予想されています。被害の中心部に住む我々の備えは大丈夫でしょうか。今こそ東日本大震災や熊本地震の教訓を生かす必要があります。

南海トラフ巨大地震の 危険性

は東日本大震災とおなじくらいの約11万人。支援は10分の1程度と思っただけがいいという意見もあります。そのために日頃から地震が起きた場合のことを考えて心も物もしっかり自分たちで準備しておくことが必要です。もし避難生活を余儀なくされた場合、予想もしない生活が待ち受けることでしょうか。例えば、停電で灯りがつかなくなっ



庄内川の防災イベントで休憩所としても使用

てしまったら、夜はとも不安な気持ちになるでしょう。水が止まってしまったら、飲み水の確保や食事の準備にも困るでしょう。お風呂もトイレも使えません。トイレを我慢して体調を崩す人も出てくるでしょう。また、体育館や公民館といった場所では机やイスはありません。「日常の当たり前」が当たり前ではなく、なくなってしまうのが避難生活です。名古屋市中防

防災を考えることは 『命』を考えること

倉吉社長は「地震、ゲリラ豪雨、台風など、災害はいつ起きてもおかしくありません。私たちには、自分の命、家族の命、財産、他にもいっぱい守りたいものがあります。守るのは誰かではなく自分自身であることを自覚し、一人一人がいざという時に備えて頂きたいと思えます。自然災害を個々の対応力だけで乗り切るのは難しく、共助や公助を必要としますが、ま



名古屋市港防災センターのイベントの様子

ミラクルボックス

4種類のパーツを組み立てた箱が、生活に便利なツールに早変わり！



平面荷重で 800kg程度の 強度!!

環境にやさしいダンボール製・工具不要・組み立て簡単
外箱も使えるムダ無し設計

■ミラクルボックス
メーカー希望小売価格 1セット 13,500円 (税別)

■セット内容

- ①組仕切り板64枚 ②側板16枚 ③補強天板16枚+予備4枚 ④連結板8枚 ⑤靴箱用仕切り板1枚 ⑥すべり止めシート1枚 ⑦マジックテープ8枚 ⑧軍手1双

〈お問い合わせ先〉株式会社 眞照 名古屋市中川区打出町中切547
☎052-353-0113 FAX052-353-5122



ず大切な命を守り被災直後を耐え抜く備え「自助」です。そして生きる意欲と行動力、助け合いの気持ちを持つことで被災時は、普段の生活と違い色々な不自由があります。私たちは、その不自由さを少しでもなくし、災害に立ち向かい前向きになるきっかけ作りになる製品を皆様に提供したいと考えています。また、避難訓練や防災学習への参加、日本赤十字社への寄付を通じて、地域をはじめ直接手の届かない被災地等への支援をさせて頂いています」と語る。



箱8個でベッド



箱4個でテーブル+箱1個でイス



外箱を靴入れや棚に



ひっくり返して棚